ODAWARA 里山MAP 久野南エリア

久野の山林をあるこう。

見なれたまちなみをぬけ
景色がみるみる間にかわる
そこには大きな森林(もり)がある
涼しい空気　木の匂い　差しこむ光　鳥の声
土の形を足で感じて
体ぜんぶで山を知る
気づかなかっただけ
山はずっとそこにある
まずは一歩ふみこんで
いつもはきこえない音がきこえる
見えない色が見えてくる

久野地域にある 辻村山林について

神奈川県小田原市に位置する、辻村家が旧小田原藩から代々受け継いできた山林。樹齢300年の巨木や水力発電所の遺構など文化的にも価値があり、水源林として美しく整備された森林が山一帯に広がります。また、明治時代に6代目当主常助が開設した辻村農園は、元々今の小田原駅周辺にありましたが、熱海線（今のＪＲ東海道線）が開通することになり、大正8年に久野の辻村山林内に移転しました。時代の移り変わりの中で西洋渡来の樹木や梅園も充実し、1990年その一部は小田原市の所有になり『辻村植物公園』として市民に開放されるようになりました。隣接地には『わんぱくらんど』や『いこいの森』といった、森と親しめる施設も充実しています。

里山とは

人里近くに広がり、昔から暮らしの中での継続的な利用によって保たれてきた森林です。
里山では、山に人が手を入れないと、木が茂りすぎて森が暗くなり草花が育ちません。
むき出しの地面は雨水に削られ、栄養がないやせた土地では生き物も減ってしまいます。
手入れをすることで森に光が入り、根元に草花が生えることで土砂の流れを防ぎます。
雨水が地面に染みわたり栄養たっぷりの地下水は、山のふもとを通り海にたどり着きます。
それによって山や海の生態系や人里の畑の実りも豊かに。
山の景色は絶妙なバランスで成り立っています。人と自然が作り上げてきた原風景、それが里山なのです。

川上・川中・川下とは？

山仕事を生業としてきた人々が昔から使っていた言葉。川を利用して木材を運んでいたことから、木が人の手に渡るまでの工程を川の流れにたとえました。

川上 山林を作る

木を植え、育て、伐る。森林全体のバランスをとり山を強くすると同時に、必要な分の材木を製材屋に運びバトンタッチする。

川中 木を加工する

運ばれてきた丸太をのこで加工し、乾燥させて必要な形に製材する。

川下 木を使う

大工さんや、私たちが製材された木材を使って家を建てたり必要な家具を作ったりする。

草野邦弘さん わんぱくらんど所長

こどももおとなも のびのび楽しめる所です

わんぱくらんど、辻村植物公園を管理運営

わんぱくらんどは2000年に開園し、2010年に倍の大きさになってグランドオープンしました。谷や沢などをちょっと加工して作られたので、山の形そのものを体感できるんです。こういった公園は珍しいですよね。
中でも、小田原城をモチーフにした小田原城アドベンチャーは難易度別に3つのコースがあり、幅広い世代が遊べて非常に人気があります。遠方からのお客様も多く、今ではインターネット口コミサイトのトリップアドバイザーで小田原の観光施設で評価が第1位に。自然の中でのふれあい、生き物とのふれあい、なかなか今の生活ではできないですよね。子どもたちにそういった体験をしてのびのびと育ってほしいです。
隣の辻村植物公園は、もともとこの地域に大きな貢献をしてきた辻村家の6代目当主常助さんが明治時代に作った農園です。当時珍しかった外国の植物をいち早く育てていたため、樹齢を重ねた外国産の樹木がいたるところにあります。それを保存して見せていくことも今後の課題ですね。

村山泰副さん 小田原市森林組合 職員

たくさんの動植物 いこいの森へ あそびにきてね

キコリさんたちのサポートや森林の管理、いこいの森を管理運営

僕らは、『林業（りんぎょう）』といって、キコリさんたちと森を育て、木を伐り丸太を生産する仕事をしています。
人工林は、言わば木の畑。人がちゃんと管理しないと、生き物が住めない荒れた森になっちゃいます。木を植えてから収穫までおよそ60年。気が長いですよね。かといって、途中で整備を怠れば森は荒廃してしまう。世代を越えて守って行かなくてはならないんです。整備された森は、光が射し、鳥が落とした種が芽吹いて、植物が生える。そこに餌や住処を求めて獣（けもの）や虫がきて多様性豊かな生態系が出来る。彼らの居場所を守り共存して行くためには、森を整備していく事が大切なんですね。
そして、いこいの森は、僕らが整備した森が広がるレジャー施設です。耳を澄ませば鳥がさえずり、散策路を歩くと山菜が採れ、広葉樹には昆虫が集まる。ここは、森の生き物の生活の場に気軽にお邪魔できるところ。色んな発見をして五感で森を感じてみてください。

辻村百樹さん 辻村家 八代目当主

里山のエネルギーについて考えよう

辻村山林にメガソーラー発電所が完成、フォレストアドベンチャーを開業

辻村家が木材を製材するために山林に水力発電所を作ったのは、大正6年のことでした。製糸工場などに電力を供給することもありましたが、戦争時に砲撃台を作るため町から電気をひき稼働はストップしました。今ではボランティアの方々の整備のおかげでマチュピチュのような美しい遺跡となっています。
3.11、震災での小田原市の計画停電、はじめて電気は止まるものなのだと痛感。電力を地元で確保しようととする市民団体とともに、山林にメガソーラー発電所を設置することに…古くからエネルギーの源だった里山の現代の役割を考えるきっかけになりましたね。
同じく山につくられた木の間をワイヤーで行き交うフォレストアドベンチャー。足場やワイヤーを外せば元の山の姿に戻る場所です。子どもの頃から森に足を運んで自分の体力と判断力で木に登って滑って降りる。自分の身は自分で守るという感覚。教科書はいりません。『森で遊ぶ』そこから感じた何かが記憶に残ればいいんです。

大山謙司さん 大山材木店 三代目 製材工

製材ひとすじ40年！山とともに生きてきたよ

山から伐採してきた丸太を製材する

小学生の頃、学校が終わると父の仕事場に行ってたよ。送材車のハンドルを回していったりきたりして。蛙の子は蛙じゃないけど抵抗なくこの仕事についたね。40年同じことの繰り返しだけど、見て触って感じて自然に身についた経験と自然とのかかわりの中で、職人としての自己満足の世界に入れるところが気に入っているよ。
地域材を地元で使うということが減ってしまったけど、気候にも合っているしよく馴染む。家を作るときに、材木の好みが強いお客さんも増えてきているので適材適所で少しずつ利用されていくといいよね。
何百年も脈々と続いてきた山の営みの中で、製材業という一つの仕事を通して自分の仕事を山に還元していきたい。山仕事の人が少なくなっているけど、仲間たちと大事に関わりあってね。僕らも次の世代に引き継ぎたいし彼らがちゃんとそれで食べていけるようにしてあげたいよね。

※大山謙司さんは平成26年度に国土緑化推進機構が顕彰する森や木に関する技を極めた達人「森の名手・名人」森づくり部門・製材工として全国64名のうちの一人に認定されました。

森を体験しよう！

マップ ❶ 辻村植物公園
住所：神奈川県小田原市荻窪1579番地の1 ほか
営業時間：9:00～16:30
定休日：月曜日（祝日を除く）・祝日直後の平日・年末年始（12/28 -1/3）
※夏休み期間は無休
TEL: 0465-33-1583

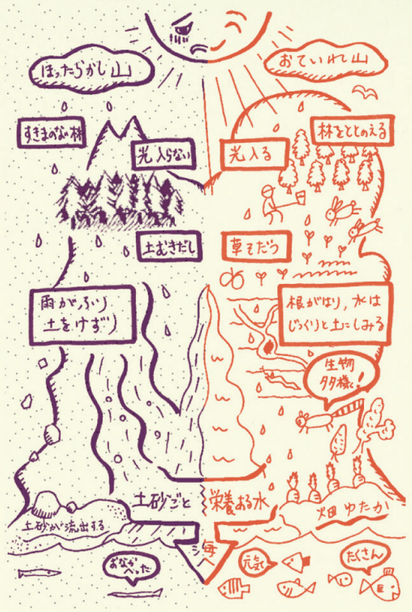
マップ ❷ 小田原こどもの森公園 わんぱくらんど
住所：神奈川県小田原市久野4377-1
営業時間：9:00～16:30
定休日：月曜日（祝日を除く）・祝日直後の平日・年末年始（12/28 -1/3）
※夏休み期間は無休
TEL: 0465-33-1583

マップ ❸ 小田原市いこいの森
住所：神奈川県小田原市久野4294番地の1ほか
営業時間：9:00～17:00
定休日：月曜日（祝日を除く）・祝日直後の平日・年末年始（12/29 -1/3）
※キャンプ期間中は無休
TEL：0465-24-3785(管理棟)

マップ ❹ フォレストアドベンチャー・小田原
住所：神奈川県小田原市久野4391
営業時間：9:00～17:00（季節によって変更あり）
定休日：木曜休み（季節によって変更あり）
TEL：080-4330-4030

マップ ❺ 大山材木店（製材所）
住所：神奈川県小田原市久野4284-5他（事務所 荻窪353-1）
営業時間：事務所 9：00～15：00
定休日：祝日・土日曜日 その他 お盆・年末年始
TEL：0465-34-4019

里山のしくみ



林業のれきし

製材工の仕事

伐採してすぐの苔むした水分たっぷりの丸太

製材したての木の表面に機械を当て計ってみたら、水分含水率**105%！**触ってもびしょびしょ

乾燥途中のものを計ると、**29.5%！**その後もう少し乾かしてから製品に

製材中！

丁寧に時間をかけて自然乾燥

木材をつかう

木は昔から家や家具、食器、薪など、暮らしのあらゆるシーンで使われてきました。木は湿度が高くなると水分を吸収し、逆に低くなると水分を放出して室内の湿度を一定に保つ働きがあり、断熱効果にも優れています。また、木の香りには、イライラを抑えて心と体をリラックスさせる働きがあり、触り心地も柔らかくて温かく、感受性豊かな子どもの発育にも適しています。
暮らしに地域の木を取り入れることは、それだけ山の手入れが行き届くことになり、いいことといっぱい！

「木の家を体感できます」

いこいの森にある、ウッドデッキ付きの５棟のバンガローは、企画、設計、施工、材料まで、地元にゆかりのある人、地場産材で作られています。4月から10月は宿泊もすることもでき、スギ・ヒノキの香りをふんだんに感じることができます。

お問い合わせは 小田原市いこいの森へ

企画：久野会久野南エリア里山地図製作所
制作：ノスリ舎　協力：小田原市
2015年4月吉日発行　※記載の情報は地図発行時のものです